

令和3年第1回青森市議会定例会提出

請 願 文 書 表

請願一覧表

受理 番号	受 理 年月日	件 名	請 願 者 の 住 所 ・ 氏 名	紹 介 員	付 託 委員会
1	R3.2.19	新型コロナの影響から事業者の営業を守るための給付金を求める請願	青森市長島3丁目21番8号 青森民主商工会 会長 佐藤新吉	赤平 勇人	文教経済 (常)
2	R3.2.22	ブックスタート事業の復活を求める請願	青森市大野若宮165-19 新日本婦人の会青森支部 支部長 北田文子	万徳 なお子	民生環境 (常)

新型コロナの影響から事業者の営業を守るための給付金を求める請願

令和3年2月19日

青森市議会議長 長谷川 章 悦 様

青森市長島3丁目21番8号
青森民主商工会
会長 佐藤 新吉

紹介議員 赤平 勇人

(請願の趣旨)

2020年1月15日に国内で初めての新型コロナウイルスの感染者が確認されてから1年がたった。いまだに、混乱が終息する見通しが立たない中、長引く影響によって青森市内でも飲食店をはじめ、多くの業者が「もう、店を畳むしかない」という悲鳴の声を上げ、実際に営業をやめる事業者も出始めている。

これまで、事業者への支援として国による持続化給付金や家賃支援給付金が行われてきたが、こうした給付金も底をつくという事業者も少なくなく、上記のような事業者はさらに増えていくことが予想される。

国による再度の直接的な支援を行う見通しも立たない下で、事業者にとっては先行きに希望が見えず、自治体からの手厚い支援も切実に求められている。これまで青森市では、プレミアム付商品券事業や事業継続支援緊急対策などが行われてきたが、恩恵を受けることができた事業者は限られている。

対象業種を絞ることなく、影響を受けている全ての事業者に対して、希望が持てる支援策を講じるよう、以下のとおり求める。

(請願事項)

新型コロナウイルスの影響が発生している全ての事業者に対して、支援を目的とした給付金事業を行うこと。

ブックスタート事業の復活を求める請願

令和3年2月22日

青森市議会議長 長谷川 章 悦 様

青森市大野若宮 165-19
新日本婦人の会青森支部
支部長 北 田 文 子

紹介議員 万 徳 なお子

(請願の趣旨)

新日本婦人の会は、女性の要求実現と子どもの幸せ、平和と暮らしの向上を目指し、全国で運動している国連NGOの女性団体である。

ブックスタート活動をサポートするNPOブックスタートのホームページによると、「ブックスタートは、0歳児健診などの機会に、絵本をひらく楽しい『体験』と『絵本』をセットでプレゼントする活動です。抱っこぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを『すべての赤ちゃん』に届けます。赤ちゃんの幸せを願い、行政と市民が連携して行う自治体の事業です」とある。

青森市では2005年8月からブックスタート事業を開始し、4か月健診の際にブックスタートパックを配付し、その場で読み聞かせも行っていた。ブックスタートパックの購入費は、令和元年度は年間で158万7492円であった。

青森市は、2020年4月からブックスタートパックを4か月健診で配付する事業を廃止してしまった。「今回は何の絵本がもらえるかな」ととても楽しみに健診に出向いたある保護者は、ブックスタートが廃止されたことを知り、大きなショックを受けた。健診で絵本をもらった経験のある保護者たちからも「予算を削るところが間違っている」などの声も上がった。

NPOブックスタートのホームページでは、ブックスタート事業を開始して2年が経過した青森市で、ブックスタートに関わっている方々の座談会の様子が掲載されている。そこには「ブックスタートの様子を見ていると、やっぱり子どもは絵本が好きなんだと感じます。家のどこかに絵本があると、子どもは必ず手を伸ばすけれど、それがあかないかでは、やはり大きな違いがあります。だから、そういう環境をすべての子どもの周りに整えてあげるといことは、大人の大切な役割だと思うんです」、「絵本を開くひとときの楽しさを、赤ちゃんという早い時期から、もれなく伝えることができるというところに、やりがいを感じますよね」という司書の方々の声が紹介されている。

身近に本がある生活の入り口として、そして親子の触れ合いを育む意味でも、全ての家庭に本が配られるブックスタート事業は、子どもたちや子育てをする保護者にとってとても大切である。

以下のことを求める。

(請願事項)

乳児健診時にブックスタートパックを配付するブックスタート事業を復活すること。